

●特集 2025年9月1日 アフガニスタン南東部の地震

（１）概要及び最近の地震活動（注１）

2025年9月1日04時17分（日本時間、以下同じ）にアフガニスタン南東部の深さ8kmでMw6.0の地震（MwはGlobal CMTによるモーメントマグニチュード）が発生した。この地震は、発震機構（Global CMTによる）が北北西-南南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。今回の地震により、死者1,992人、負傷者3,631人などの被害が生じた（被害は、2025年10月6日現在、国連人道問題調整事務所による）。

今回の地震の震央周辺は、北側にあるユーラシアプレートに対して、南側にあるインド・オーストラリアプレートが北北東方向に移動して衝突する地域であり、地震活動が活発な地域である。

1980年以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近（図1-1の領域a）ではM6.0以上の地震が時々発生しており、2005年10月8日にはMw7.6の地震が発生し、死者86,000人以上などの被害が生じた。2022年6月22日にはMw6.1の地震が発生し、死者1,036人などの被害が生じた。

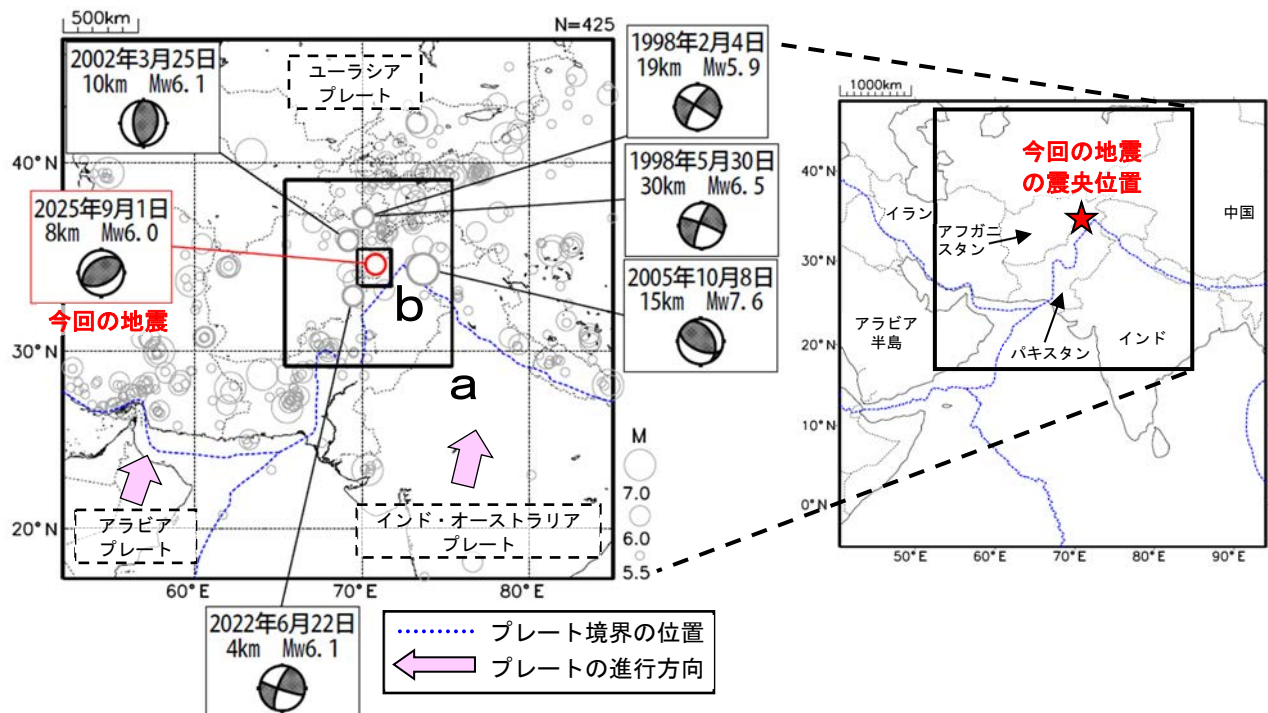


図1-1 震央分布図（1980年1月1日～2025年9月30日、深さ0～100km、M_w≥5.5）
2025年9月の地震を赤く表示。吹き出しは領域a内で被害が死者1,000人以上の地震。

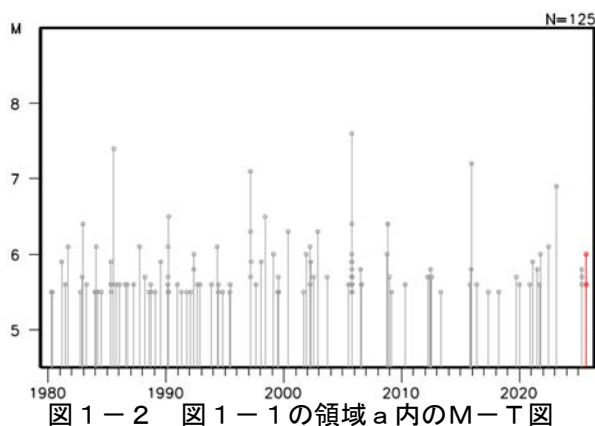


図1-2 図1-1の領域a内のM-T図

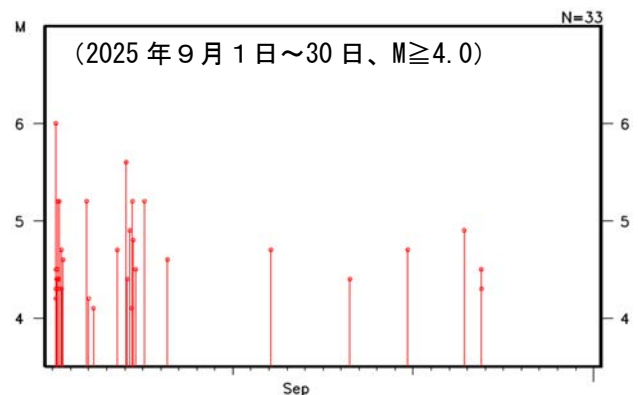


図1-3 図1-1の領域b内のM-T図

（注１）震源要素は、2021年まではISC-GEM Global Instrumental Earthquake Catalogue Version 12(1904-2021)、2022年以降は米国地質調査所(USGS)による(2025年10月1日現在)。ただし、吹き出しを付けた地震の発震機構及びMwはGlobal CMTによる。地震の被害は、今回の地震と2022年6月22日の地震の被害は、OCHA(UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs:国連人道問題調整事務所、2025年10月6日現在)、2005年10月8日の地震の被害は理科年表、その他の地震は宇津及び国際地震工学センターの「世界の被害地震の表」による。プレート境界の位置とプレートの進行方向はBird(2003)^{*1}より引用。

^{*1}参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.